

2026 フェスティカップ 4 時間耐久レース

場 所 フェスティカサーキット栃木

日 程 2024年1月25日(日)

参加費用 1チーム / 会員 ¥32,000 ・ 一般 ¥35,000 (トランスポンダーレンタル代込み)

※エントリーはWebエントリーのみ、となります。エントリー締切は「1月22日(木)」まで

※エントリーをチームメンバーでフェスティカ会員の方が行っていただくことで、会員料金になります。

※参加チームすべてがフェスティカのレンタルポンダーを使用します。

※希望ゼッケンは、webエントリー時に入力してください。

参加資格 当該年 中学生以上

競技種目

YAMAHA KT エンジンを使用した4時間耐久レース

1チームの人数は、2~5人

ただし、赤旗や気象条件などでレースが中断した場合、レース開始から3時間30分を経過した時点で走行時間が4時間に満たない場合でもレース終了とする。

重量規定

ドライバー全員の体重を測定し合計の平均値+車両重量で計測

SEC … 145kg以上とする。

SD / SC … 148kg以上とする。

※ 特別ルールとして女性ドライバーと60歳以上のドライバーは体重を60kgで換算する。

これは各チーム1人のみの特別ルールとする。

※12/27追記 → 特別ルール対象者で体重60kg以上のドライバーは、実際の体重で平均値を出すことを認めます。

エンジン規定

2025 フェスティカ栃木・SL カートミーティング FD マスターズクラスのテクニカルレギュレーションに準ずる。

シャーシ規定

CIK、JAF公認、又は主催者が認めたシャーシのみ使用可。ゼッケンの色は自由する。

タイヤ規定

ドライ DUNLOP SL-FD 1セット

ウェット DUNLOP SL-W2 1セット

ガソリン・オイル

ガソリン 市販ハイオクガソリン

オイル 自由

スタートインググリッド

スタートインググリッドは、参加受付時に抽選で決定

スタートは、ローリングスタート方式で行う

ドライバー走行時間規定

1人最短10分以上とし、最長30分以内とする。30分以上の走行はペナルティ対象となります。1回の走行時間はMYLAPSでのピットレーン通過時間にて判断しますので余裕を持ってドライバー交代を行ってください。

ピットインした場合は必ずドライバー交代しなければならない。違反した場合は周回数減算のペナルティとする。

(MYLAPSのポンダーで確認し、これに関する抗議は一切認めない)

ピットイン規定

1) 回数

ピットインは最低11回以上、11回に満たなかった場合は周回数減算ペナルティとする。

2) ドライバー交代・給油・ペナルティ・修復後復帰エリアについて

① ドライバー交代エリア：ピットストップ時間制限なし。ドライバー交代のみとし、ドライバー交代中はエンジンを必ず停止しなければならない。

② 給油エリア：ピットストップ2分間。燃料補給、チェーングリス、バッテリー交換、ドライバー交代のみとし、その他の作業は切認められない。

③ ペナルティエリア：ピットインペナルティを受けたチームは、このエリアで指定された時間停止しなければならない。
給油、ドライバーの交代は認められない。

④ 修復後復帰エリア：マシントラブルでピットインし、各自チームのピットで修復作業した場合もピットインとしてカウントします。修復後レースに復帰する場合は必ず指定のエリアからコースインしてください。

(MYLAPSのポンダーで確認し、これに関する抗議は一切認めない)

3) 各エリアへのピットイン可能台数

ドライバー交代エリア・給油エリアの台数は最大5台までとする。

もし5台のレーンが空いていない状態で各エリアにピットインした場合は、その場所でエリアが空くまで待機しなければならず、タイムカウントは行われない。また、その場所での作業は一切禁止する。違反した場合は周回数減算ペナルティとする。エリアが空き使用可能になってからタイムカウントを開始し作業を行うことができる。

4) カート修復作業について

マシンの修復、タイヤ交換などの作業は必ず各自チームのピットへ戻り作業しなければならない。修復作業完了後、指定の

修復後復帰エリアまで車両をカートスタンドで移動し、そこからコース復帰する事。

自チームのピット以外の場所で作業を行った場合は周回数減算ペナルティとする。

5) 燃料補給

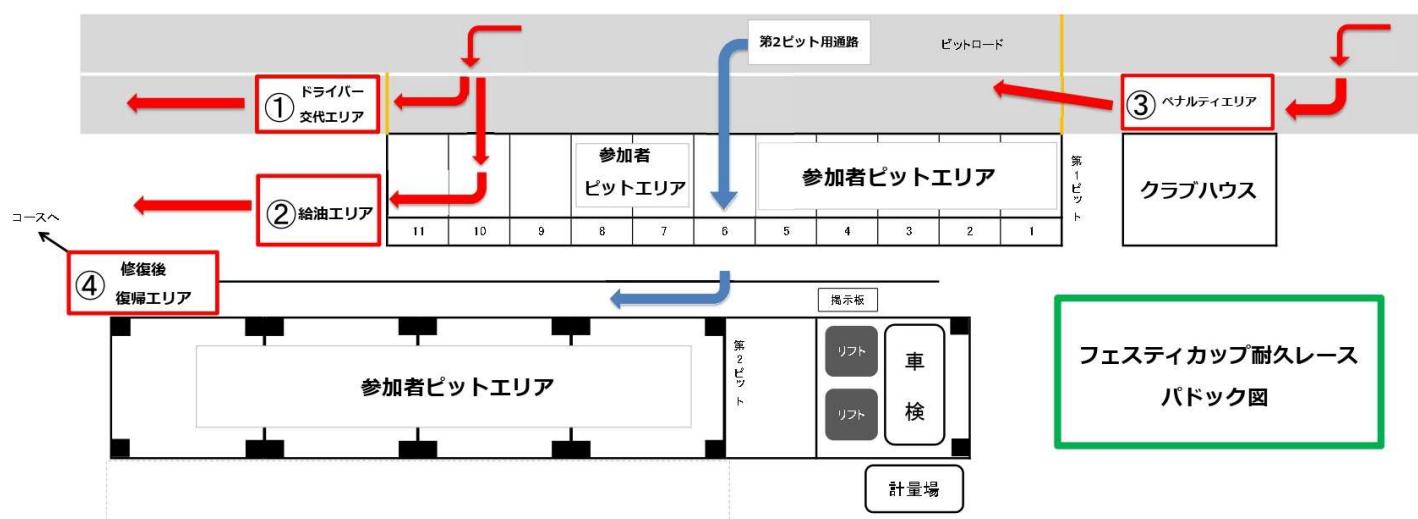
スタート時…燃料の入っていない状態の車両に車検場で3ℓ以下以下の燃料を給油しスタートを行うこと。

レース中…1回の燃料補給は最大で3ℓとする。燃料は必ずポリミックスに入れ、給油前に必ず車検員へ確認を行うこと。

それぞれのレーンでの作業内容や給油に違反した場合は周回数減算ペナルティとする。

6) ピットロード速度

ピットロード走行時の速度が速すぎて危険、とオフィシャルが判断した場合、周回数減算ペナルティとする。



車載カメラ、無線機規定

車載カメラ、無線の装着は可能とする。使用する場合は強固に固定すること。走行中の脱落で他の車両に被害を及ぼした場合は周回数減算ペナルティとする。

セーフティーカー（以降 SC）及びフルコースコーチン

トラブル発生時には競技委員の決定によりSCが介入します。その時は「SCボード」+「黄旗（振動）」をメインポストで掲示し、その他の全ポストは「黄旗（振動）」の状態になります。SCコースイン後は原因車両は自走してピットに戻ることを禁止します。

•フルコースコーチンは以下の順に行われます。

A) フルコースコーチン宣言、SC介入決定後、SCは先頭車両の前にあります。

全ての車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければなりません。その間の追い越しは禁止です。

※SCの指示により先頭車両がSC直後に来るまでその他の車両を追い越しさせ、整列します。

B) トラブル等で隊列について行けなくなった場合は、後続車に片手を上げ合図を送りラインをはずして走行して下さい。

C) フルコースコーチン時においても車両はピットに入ることができます。給油・ドライバー交代も可能です。

但し隊列が整うまで一時的にピットロード入口を閉鎖します。

給油所が満車・交代するドライバーがないなどの場合はドライブスルーしてください。ピットアウトはオフィシャルの指示によりコースインすることができます。

D) SCがピットインしメインポストで緑旗が振動表示されたら、コントロールラインよりフルコースコーチンは解除されます。その時コントロールライン手前での追い越しは禁止します。

E) SC導入時間も走行時間に含みます。

車且回収規定

レース中走行不能となった車両の回収にプッシングカートを使用し回収作業を行う。走行不能となったドライバーは、コントロールタワー方向へ向かって大きくアピールし、プッシングカートの要請を行ってください。

- 1) コースアウトやチェーン切れの車両に対して、プッシングカートを導入することがあります。ドライバーは安全な位置に車両を移動して下さい。
- 2) 動けなくなった車両はコントロールタワーやポストに向けて手を高く振って助けを求める意思表示をして下さい。
- 3) プッシングカートの導入時は白旗を提示します。
- 4) プッシングカートが到着してからドライバーはカートに乗り、そのカートをプッシングカートが押してピットに戻ります。

ペナルティ、罰則規定

通常のレースと同じようにレース中の悪質な行為や危険行為等には周回数減算ペナルティを与えます。ペナルティは主催者の判断とし、これに関する抗議は一切認めません。

レース賞典・表彰式

レース終了後、表彰式を行います。

1位から3位のチームに賞典を授与いたします。

以上

2025/12/13 更新